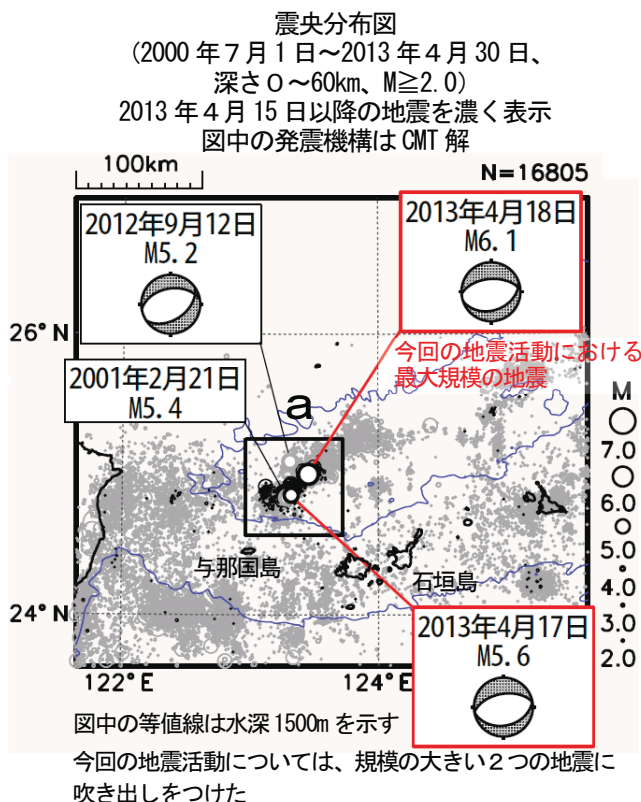
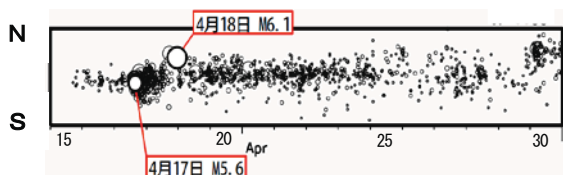


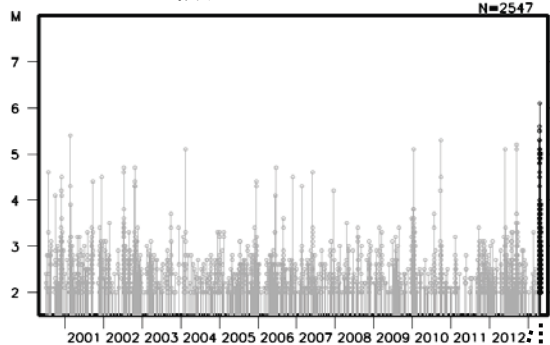
4月15日以降の与那国島近海の地震活動



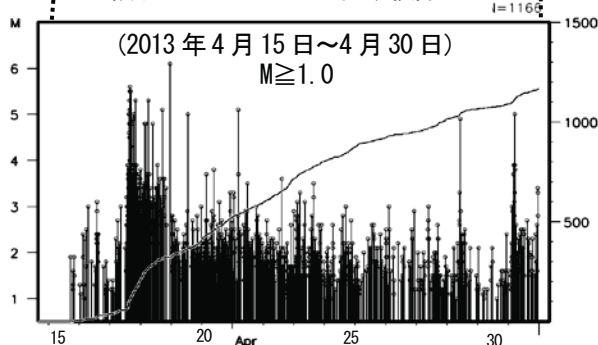
領域a内の時空間分布図 (南北投影)
(2013年4月15日～4月30日)



領域a内のM-T図



領域a内のM-T図と回数積算図

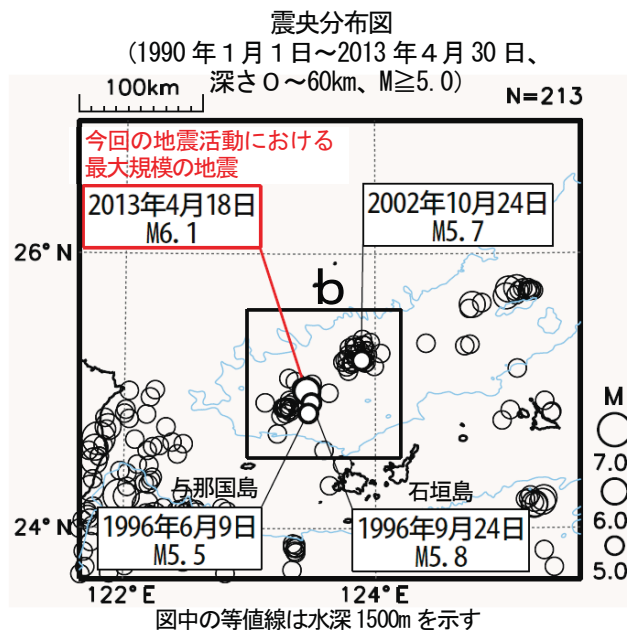


2013年4月15日頃から与那国島近海で地震活動が始まり、17日13時頃から活動が活発となりM5程度の地震がまとまって発生した。このうち最大規模の地震は、4月18日23時08分に石垣島北西沖(与那国島の北東約70km)で発生したM6.1の地震(最大震度1)であった。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に張力軸を持つ正断層型であった。

この地震活動では、全般に主に南北方向に張力軸を持つ正断層型の地震が発生している。また、活動は4月30日現在も活発な状態が継続しているが、発生回数は徐々に減少している。

2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、数年に1度程度、まとまった地震活動が見られる。2001年2月21日にはM5.4の地震(最大震度1)が発生した。また最近では、2012年9月12日にM5.2の地震(震度1以上を観測した地点なし)が発生した。

1990年1月1日以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1996年6月9日にM5.5の地震(最大震度1)、1996年9月24日にM5.8の地震(最大震度2)が発生した。また、2002年10月24日から25日までの活動では、M5クラスの地震が27回発生している。



領域b内のM-T図

